

## 選考結果総括表

府省庁名 厚生労働省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)勤労者退職金共済機構	理事(理事長代理) (建設業退職金共済事業担当)	櫻井 康好	60	H22.1.1	国土交通省大臣官房付[OB]  (財)建設経済研究所 常務理事	櫻井 康好	60	(独)勤労者退職金共済機構理事(理事長代理)(建設業退職金共済事業担当)[OB]	応募総数 13名 ↓ 書類選考 ↓(4名) 大臣に経過報告 ↓(4名) 面接 ↓(4名) 任命権者が選任 ↓(1名) 所管大臣に協議
(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園	理事 (総括、人事、事業企画局担当)	欠員				中川 英男	62	(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園参与	応募総数 5名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 大臣に経過報告 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 任命権者が選任 ↓(1名) 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

(様式4)

## (独)勤労者退職金共済機構

公募

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	めかが 額賀 信	66	H23.1.1	4	H27.9.30	㈱ちばぎん総合研究所取締役会長				厚生労働大臣	
理事 (理事長代理)	さくらい 櫻井 康好	60	H22.1.1	2	H25.9.30	環境省自然環境局長 国土交通省大臣官房付 (財)建設経済研究所常務理事	(公募の結果、改めて現任者を選任)			理事長	H25.10.1
理事	ひがし 東 健作	59	H22.1.1	2	H25.9.30	ドイツ証券㈱投資銀行本部 マネージング・ディレクター				理事長	
理事	すがわら 菅原 晴樹	61	H22.1.18	2	H25.9.30	㈱大和総研 年金コンサルティング部参事 チーフコンサルタント				理事長	
監事	すずき 鈴木 正男	61	H23.10.1	2	H25.9.30	(独)勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 林業事業部長				厚生労働大臣	
監事 (非常勤)	さとう 佐藤 裕治	51	H19.10.1	2	H25.9.30	(現職) 監査法人大手門会計事務所社員				厚生労働大臣	

(独)勤労者退職金共済機構理事(理事長代理)(建設業退職金共済事業担当)選任理由

本法人の使命は、中小企業の従業員の福祉の増進と中小企業の振興に寄与すること等を目的に、事業主の相互共済の仕組みにより、手軽で安心、確実な退職金制度を運営するとともに、勤労者の計画的な財産形成を促進することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、建設業退職金共済事業本部に係る理事長の権限を代理し、職員を指揮監督し、確実な退職金支給のための各種取組みや加入促進、資産運用等を効果的に実施するとともに、「契約の適正化」、「冗費の削減」といった独立行政法人の経営運営改革に当たっての課題を的確に実施していくことが求められている。

本件公募に対しては、13人の応募があり、選考委員会による書類選考の結果、4人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、適任と判断される1人を選び、任命権者である理事長に提示したところ、別途候補者と面接した理事長も、櫻井 康好氏を最適任と判断し、所管大臣との協議を経た上で選任したところである。

任命理由は、直接担当する建設業退職金共済事業について業界の実情を十分踏まえた上で効率的・効果的運営を図るとともに、確実な退職金支給のための取組の強化、業務処理の簡素化・迅速化、加入促進対策の効果的実施など当法人の有する課題の解決に向けて、高いマネジメント能力やリーダーシップを引き続き発揮することが期待できることに加え、独立行政法人の経営運営改革に強い意欲を示しており、理事長の補佐役として最適任者であると判断したものである。

## 選考委員会の属性について

### 【厚生労働省】

- ・独立行政法人 勤労者退職金共済機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

- ・会社（役）員 2名
- ・団体（役）員 1名
- ・大学教授 2名

---

計 5名

(様式4)

## 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	任期	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴			
理事長	遠藤 浩	60	H15.10.1	5	H30.3.31	社会保険庁社会保険業務センター所長				厚生労働大臣	5	
公募 理事	欠員			2			中川 英男	62	(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園参与	理事長	2	H25.10.1
理事	原 隆	61	H25.4.1	2	H27.3.31	(社福)はるな郷施設支援推進室参与				理事長	2	
監事 (非常勤)	大河原 賢治	64	H23.10.1	2	H25.9.30	ぐんぎんリース株式会社常務取締役				厚生労働大臣	2	
監事 (非常勤)	前田 秀信	63	H24.6.1	2	H26.5.31	(社福)はるな郷施設支援推進室参与				厚生労働大臣	2	

(独) 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事選任理由

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園（以下「のぞみの園」という。）の使命は、重度の知的障害者に対する自立のための先導的かつ総合的な支援の提供、知的障害者の支援に関する調査及び研究等を行うことにより、知的障害者の福祉の向上を図ることにある。

そうした組織にあつて、理事（総括、人事、事業企画担当）には、そのミッションとして、のぞみの園の運営を総括するとともに、総務部、事業企画部、研究部、監査室、診療部を担当し、各部署における課題に対する責任者として業務を統括し、また、理事長が定めるところにより、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行う。

本件公募に対して5名の応募があり、8月9日（金）、選考委員会が3名に対し面接を行い、最も適任と判断した者1名を選考した。任命権者であるのぞみの園理事長は選考委員会による選考の経緯及び結果を踏まえ、選考委員会が最も適任であると判断した中川英男氏について、厚生労働大臣に協議を行い、同人を選任したところである。

任命理由は、横浜市の生活保護面接相談員、滋賀県社会福祉事業団理事兼知的障害児施設長など、福祉行政に精通しているとともに、組織マネジメントの経験も豊富であり、また、前職の滋賀県地域生活定着支援センター所長の経験を活かし、福祉の支援を必要とした刑務所等を出所した知的障害者の地域移行支援の責任者として新たなミッションに取り組み、先頭に立って国立施設として果たす役割を実現するなど、障害者福祉に高い知見と管理者としての能力及び熱意を十分有しており、のぞみの園の適切な業務運営を遂行するために大いに期待できるものである。

## 選考委員会の属性について

### 【厚生労働省】

- ・独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事（総括、人事、事業企画局担当）

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・大学教授	1名
・元大学学長	1名
・団体役員	1名
・ <u>その他</u>	<u>1名</u>
計	4名